



## 2013-14年度 熱海クラブの活躍に期待!

東日本区理事 渡辺 喜代美 (十勝クラブ)



「ごらん、冬は去り、雨の季節は終わった。花は地に咲きいで、小鳥の歌うときが来た。この里にも山鳩の音が聞こえる。いちじくの実は熟し、ぶどうの花は香る。恋人よ、美しいひとよ。さあ、立ってでておいで。」(雅歌2:11-13)

7月はキックオフの月です。2013-14年度は、「いざ立て Once more we stand」を主題に掲げ、皆さんと共に一年間活動し、ワイズを楽しみたいと考えています。

毎月開催されるクラブ例会は、司会の開会宣言、ワイズソング・公式歌「いざ立て」が例会場に響きわたり、会長挨拶からスタートします。東日本区63クラブの例会は、ともに集い、学び、語り、肩の力を抜き、笑いあふれる楽しいひと時であるとすべての会員が体感していると思います。世界のサービスクラブは、会員の高齢化、会の存続を嘆いています。今こそ、私たちワイズは、理想の高齢者、元気な高齢者、終生現役ワイズとして、年齢を超越した存在

として、身近な活動からその輪を世界に広げ、存在意義を示していきたいと思っています。ベテランワイズもフレッシュワイズも、ワクワク・ドキドキ、胸を響かせながらワイズ運動を進めてまいりましょう。

新しい年度がスタートします。今年度は、ほんの少し気分をかえて、笑顔で集まりましょう。

今年50周年をむかえられる熱海クラブの働きは、40年に亘って支援されている「NPO法人熱海YMCA」とともに地域に密着し、さらにその存在が注目されていることと思います。「誇りあるワイズメンを育てよう」と主題をかかげた青木義美部長(熱海クラブ)と共に熱海クラブがますます活性化し、奉仕の輪を築いて下さることと確信しています。

どうぞ、声高らかにワイズソング(ポール・ウィリアム・アレキサンダー作詞・シベリウス)を歌い、響かせ、ワイズの光を地域に輝かせていただきますようお願い申し上げます。



## 熱海クラブと共に

富士山部部长 青木 義美



札幌会長の出港に心よりお祝い申し上げます。

今年は熱海クラブは50周年記念式典を迎えるたいせつな年であります。盛会を心から祈るとともに、富士山部としても強気に後押しを考えております。

私は、熱海クラブの代表として皆様にも後ろ指さされないよう、恥かかないよう、ただそれだけを考えて1年間務めてみます。東日本区最大のクラブである誇りも忘れずに…

さて、富士山部を考えた時、やはり全体の人数減を含めて少々力量不足状態であります。しかし部の歴史36年は確実に根を張ってきております。会長2回目の方もいますがその都度新鮮な気持ちで対応してくれております。1番大切なのはやはりメンバー1人1人の自己研鑽力だと思っております。ワイズで更なる自分の教育そしてクラブの成長が存続されれば自然に心通ずる方も集まってくるのではないのでしょうか。会員増強が叫ばれている昨今、再度足元固めに努力される事を望みます。はしごを外さないよう1年間ご援助宜しく申し上げます。“HAPPY TOGETHER!!”



## 連帯と地域・国際性豊かな熱海クラブの力を 創立50周年記念例会で示そう

熱海YMCA理事長 竹内 敏朗



1963年12月15日、横浜・大阪・神戸・東京を中心に全国のリーダーが参集、当時としては誠に盛大な認承状伝達式・引き続きパーティが開催された。前年1962年カナダバンフホテルで開催された国際大会、引き続き1966年のハワイ大会、1971年デンマーク・コペンハーゲンと当時毎年開催され

た国際大会にも5名から8名と多数のメンバー・メネットが参加した事も特筆すべきである。

新しい企画プログラムの導入、30-40才の若い会員を少なくとも5名以上入会、更に活力・友情・国際性の強いクラブとしての御活躍を希望します。次の50年後の夢と新しいプログラムの導入を是非どうぞ。

